

研究計画の作成—介入研究—

公益社団法人地域医療振興協会ヘルスプロモーション
研究センター／本会研究倫理審査委員会委員長

柳川 洋

これから研究を進めようと考えているあなたへ
③

介入研究の特徴

介入研究とは、現在起きていることをそのまま観察するのではなく、評価をしようとする因子(健康への影響を有する)と考えられるさまざまな因子、例えば、喫煙、運動不足、食塩のとりすぎなど)への曝露状況を人為的に変更することによって、疾病または健康異常の発生状況が異なるかどうかを明らかにしようとするものである。人為的な変更が加わるので、「介入」という言葉を使う。通常介入群と非介入群に分け、介入群に対しては、評価しようとする因子、例えば、薬剤、治療方法、ワクチン、食生活、身体活動、環境などを、定められた方式で、「与える」。

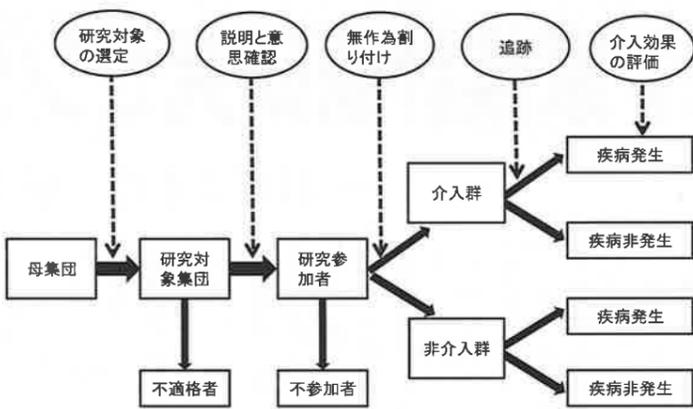


図1 介入研究の流れ

介入研究の流れ

通常、図1に示すように介入研究は、①研究対象の選定、②説明と意思確認、③無作為割り付け、④追跡、⑤介入効果の評価の流れに沿って実施する。あらかじめ決められたプログラムに沿って介入が行われるので、研究参加者の人権尊重及び倫理的な配慮には慎重な配慮が必要である。研究対象者(場合によっては保護者)に対しては、個別に研究の目的、意義、介入の内容、介入によって予想される利益・不利益についてわかりやすく説明して、研究

「除く」「増やす」。介入群に有利な変化が起きるか、どうかを見る。一方非介入群に対しては、通常は特別な操作を行わないが、薬剤の効果判定する場合はプラセボ(外観上は介入群に投与する薬剤と区別できない形状で、有効成分を含まないもの)を投与することもある。結果の評価方法は観察研究で示したコホート研究と同じであり、両群からの疾病発生状況、予後の改善状況の比較を行い、介入した要因が有効であったかどうかを判断する。

表1 川崎病患者に対するガンマグロブリン治療の効果に関する介入研究(古庄ら1984)

項目	内容
目的	ガンマグロブリン大量療法が川崎病の心後遺症を予防しうるかどうかを明らかにする
対象	研究参加施設受診の川崎病患者
介入の内容	介入群: ガンマグロブリン(400mg/kg×5日)+アスピリン投与
エンドポイント	発病後30~60日の時点での冠状動脈拡張の有無
結果	冠状動脈拡張は、介入群7.5%、非介入群31.1%で介入により冠状動脈拡張の頻度を低減させた

表2 ポリオワクチンの有効性に関する介入研究(Francis Tら1955)

項目	内容
目的	ポリオワクチンの接種により、ポリオウイルス感染による神経麻痺の発生および死亡を防ぎうるかどうかを明らかにする
対象	全米1~3年の小学校児童180万人
介入の内容	介入群: ポリオワクチン(ソークワクチン)投与 非介入群: プラセボ(ワクチンの代わりに食塩水を含む)投与
エンドポイント	ポリオの発症またはポリオによる死亡
結果	ワクチン投与者からの発病はプラセボ投与者に比べて半分以下に低下 死亡はワクチン投与者0人、非投与者4人であった

野外研究

健康な一般市民の集団を対象にして、疾病予防のための生活習慣の改善、予防接種、検診などの効果判定を行う研究を野外研究という。大規模な野外研究の例として、1954年に米国でポリオワクチンの効果判定を目的として実施された研究の一部を表2に示す。

地域研究

介入群と非介入群を個人単位ではなく地域単位に割り付ける方法をとる場合をいう。例えば、むし歯予防のために集団的なフッ素塗布を実施する

本会研究倫理審査委員会のご案内

本会には研究倫理審査委員会(柳川洋委員長)が設置されています。研究倫理審査を希望される方は、研究を進めたい研究計画、研究の進め方などをお悩みの場合は、気軽に相談ください。
【問合せ先】本会家族計画研究センター
〒103(3236) 2694

セミナー

メディア情報の読み解き方を学ぶ「SRHセミナー」参加者募集中

今月から全国8か所で開催

いよいよ今月から全国8か所で「指導者のための避妊と性感染症予防セミナー(SRHセミナー)」が開催されます。今年度は「メディアが発信する情報を読み解く力をつける」をテーマにしたセミナーです。特に講義Ⅲの「誤情報の検証」では、実際にインターネットで見られる情報と正しい情報との違いを抽出し、医師の科学的検証を通じて、正しい情報をお伝えいたします。例えば「OCを飲むとがんになる?」「クラミジアはお風呂でうつる?」「HPVワクチン接種後の死亡例が海外では数多く報告さ



昨年度、東京会場の様子

【開催地・日時】
【仙台】6月22日(日)
【東京】7月6日(日)
【岡山】8月25日(日)
【札幌】9月7日(日)
【新潟】9月28日(日)
【参加費】52500円(税込) 思春期保健相談士は31500円(税込)
◆本会HPから開催要項ダウンロード、受講申込みができます。
【問合せ】 ☎03(3236)4785

セミナー

思春期保健相談士 受胎調節実地指導員

資格が取得できる本会のセミナーをご紹介します。思春期の若者たちの心身の悩みに的確に対応できるカウンセラー。本会が認定します。思春期保健セミナーコースI・II・IIIを順番に受講してください。

【第65回・66回思春期保健セミナーコースI(総論編)】
【会場】東京会場TTK P市ヶ谷カンファレンスセンター、大阪会場(中継)ITKP大阪梅田ビシネスセンター
【受講資格】保健師、助産師、看護師、養護教諭、看護教員、教職員、医師、児童指導員、少年補導員、警察官などの専門職、思春期保健相談士
【日時】8月2日(金)~4日(日) 午前9時~午後6時(最終日は午後4時終了)
【会場】東京会場TTK P市ヶ谷カンファレンスセンター、大阪会場(中継)ITKP大阪梅田ビシネスセンター
【受講資格】保健師、助産師、看護師、養護教諭、看護教員、教職員、医師、児童指導員、少年補導員、警察官などの専門職、思春期保健相談士
【日時】9月14日(土)~16日(月・祝) 午前9時~午後6時(最終日は午後4時終了)
【会場】マツダ八重洲通ビル(東京・八丁堀)
【受講料】3万1500円(税込)、思春期保健相談士は1万5750円(税込)
【会場】成田ビューホテル(千葉・成田市)
【受講料】受講料4万2000円(思春期保健相談士は2万1000円) 十泊泊料2万7300円(税込)
【開催日】8月19日(月)~23日(金)
【会場】UDXカンファレンス(東京・秋葉原)
【受講料】5万2500円(税込)
◆詳細は本会HPまたは研修担当まで

本会 家族計画研究センター・クリニック

—2012年度 事業報告—

表1 避妊と性感染症をテーマにしたセミナー

年度	名称	テーマ	回
1999年度	医師・薬剤師・看護職のためのピル・カウンセリングセミナー		5回
2000年度	避妊指導のためのスキルアップセミナー	新カウンセリング技法「GATHER」習得のために	7回
2001年度	避妊指導のためのスキルアップセミナー		6回
2002年度	避妊と性感染症予防のための指導者セミナー	学び方、教え方	8回
2003年度	避妊と性感染症予防のための実践セミナー	明日から役立つ教え方セミナー	8回
2004年度	明日から役立つ性の健康教育セミナー	避妊と性感染症予防をテーマに	8回
2005年度	避妊と性感染症予防セミナー	学校と地域の連携を考える	8回
2006年度	避妊と性感染症予防セミナー	学校教育とのコラボレーションを考える	8回
2007年度	指導者のための避妊と性感染症予防セミナー	伝えるための技術の向上をめざして	8回
2008年度	指導者のための避妊と性感染症予防セミナー	コミュニケーション・スキルを磨く	8回
2009年度	指導者のための避妊と性感染症予防セミナー	日本で一番受けたい授業	8回
2010年度	指導者のための避妊と性感染症予防セミナー	婦人科を上手に利用するためには	8回
2011年度	SRH(セクシュアルリプロダクティブ・ヘルス)セミナー	新しい話題を性教育の中でどう教えるか	8回
2012年度	SRH(セクシュアルリプロダクティブ・ヘルス)セミナー	こんな時、どうする?	8回

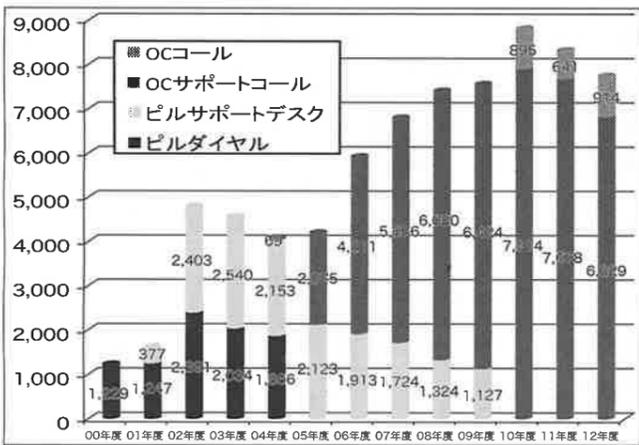
2件の大規模調査実施

本紙で既報の通り、本センターの事業の一環として「第6回男女の生活と意識に関する調査」(707号に掲載)と「シエクス・ジャパン・セックス・サーベイ」(709号に掲載)を実施した。以下、調査の概要を中心に紹介する。

【第6回男女の生活と意識に関する調査】

本調査は、現在のわが国における性や妊娠、避妊、人工妊娠中絶、少子化などに関する男女の意識と行動がいかなるものかを、さまざまな側面から分析することを目的として実施した。本調査の実施に当たり、(社)新情報センター研究倫理審査委員会に申請

1面に続き、本会家族計画研究センター・クリニックにおける2012年度の活動を報告する。
(本会家族計画研究センター・クリニック所長 北村 邦夫)



【シエクス・ジャパン・セックス・サーベイ】

本調査は、本センターが実施している「シエクス・サーベイ」は長年実施している(表1)。

避妊と性感染症をテーマにしたセミナーは1999年から開始し、106回を終え、参加者は延べ1万7538人を数えている(表1)。

避妊と性感染症予防セミナー

開始以来延べ106回 1万7千人参加

避妊と性感染症をテーマにしたセミナーは1999年から開始し、106回を終え、参加者は延べ1万7538人を数えている(表1)。

緊急避妊法適正使用セミナー

全国6か所で開催

2011年5月に発売された緊急避妊薬「ノルレボ錠」の適正使用を促すためのセミナーを日本産科婦人科学会、日本産科婦人科医学会の後援を得て、発売初年度には「ノルレボ錠」の作用機序や避妊効果、経費などの質問が多数寄せられていたが、中には、「10代女性の緊急避妊薬を処方してほしくない」という声も聞かれた。本センターは、11年度に本セミナーが制作した「緊急避妊薬適正使用」を配布し、使用方法などについて解説した。参加者は1038人。

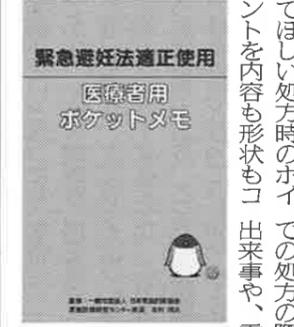
表2 「OCサポートコール」の相談内容(2004~2012年度)

	全体	04~06年度	07~09年度	10~12年度(再掲)	12年度
合計	46,156	6,155	17,580	22,421	6,829
飲み忘れた場合の対処	17.9	13.0	16.4	20.5	23.4
服用方法	19.1	19.2	19.4	18.9	18.7
副作用	15.3	16.3	16.3	14.3	12.0
周期調節	8.8	5.8	8.6	9.7	9.9
薬物相互作用	10.6	11.4	10.9	10.1	9.4
避妊効果	9.0	7.3	10.0	8.7	7.9
ピル一般	5.9	4.0	6.5	5.9	6.2
服用順番間違い	2.8	1.8	2.6	3.3	2.9
副作用以外の不安	3.0	6.8	2.9	2.0	2.4
妊孕性の回復	0.5	0.4	0.5	0.6	0.8
禁忌	1.4	1.9	1.6	1.0	0.7
副作用	0.6	0.9	0.6	0.5	0.5
緊急避妊	0.8	1.0	1.1	0.5	0.5
製剤間の違い	0.4	0.5	0.4	0.4	0.3
避妊一般	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3
検査	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2
入手方法	0.2	0.3	0.2	0.1	0.1
胎児の影響	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1
服用中の授乳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
費用	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0
医療機関の紹介	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
性感染症	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
その他	3.1	8.7	1.5	2.8	3.5

ピル関連相談 「周期調節」などに興味

本センターがピルに関する電話相談を開設してから13年が経過している。1999年にピルが承認・発売された翌年度には当時のヤンセン協和(現ヤンセンファーマ)からの委託で「ピルダイヤル」を開発。2001年度には当時のワイズ(現)による「ピルサポートデスク」、04年度には当時のシエーリング(現)による「OCサポートコール」、10年度にはあすか製薬(株)による「OCコール」へと避妊法選択の行動変

「OCサポートコール」は既に9年を経過した。相談件数は延べ4万6156件(12年度は6829件)を数えている。この9年間についての傾向を探るために、04~06年度、07~09年度、10~12年度に3分割(A群、B群、C群)した(表2)。その結果、年齢不詳を除く相談者の平均年齢は、A群29.3歳、B群29.8歳、C群30.8歳と7.5歳で統計的には有意に相談者の年齢が上がっていることが分かる。増加傾向にある(表2)。



緊急避妊法の適正使用を促す資料として、2011年度の一般向け啓発資料に続き12年度は「医療者向け『ポケットモ』(監修 北村邦夫所長、写真)を緊急避妊法実施施設に向け配布する機会を得ました。

緊急避妊薬「ノルレボ錠」の承認・発売から2年が経過し処方施設が増加することを考慮し、指導に当たる医療者にぜひ心得ておいてほしい処方時のポイントや、電話相談に寄る際の注意点をまとめた「緊急避妊の配布資料作成」を、本会クリニックスタッフが作成した。

この資料が診療の現場で「即戦力」となり、資料の配布を通して利用者へのサービス向上に資することができると考えています。

(本会家族計画研究センター・クリニック 事務局長 杉村由香理)

ト依頼メールを各回答者宛に配信しウェブ上で回答してもらった方法で実施した。調査票配信数は18万2919人、有効回答数6961人(回答率3.8%)。

これら大規模調査の結果については、メディアセミナーを開催。「第6回男女の生活と意識に関する調査」は50人、「シエクス・ジャパン・セックス・サーベイ」は30人の参加者を集めた。その成果をジャパンタイムズ、朝日新聞、毎日新聞など国内外のメディアが大々的に取り上げ注目を集めた。

「診察の流れ」 「処方時の注意点」 「避妊法」など基本的な項目だけでなく、避妊できなかったために緊急避妊を必要とした女性に相談員が説教口調だったり、レイプ被害と分かった途端に必要以上に優しく接していたりしていたなどの反省点を活かし、問診時のポイント「犯罪被害者に寄り添った診察」も取り上げました。

海外情報クリップ

20世紀の最も重要な医学の進歩の一つはピルの開発であり、その後改良が重ねられ、世界に普及したことは皆様よくご存知だと思います。子どもの数と出産間隔を理想的にするための家族計画のみならず、望まない妊娠とそれに伴う女性の健康リスクを回避するためにもピルによる女性の主体的な避妊は極めて重要です。

A Pill of Choice
「誰もが選べるピル」(抜粋)
国際家族計画連盟 (IPPF) 事務局長
テウオドロス・メレッセ氏



ピルが発売され半世紀を経た今日では、すでに多くの種類のピルが市販され、女性は自分に最も適したピルを選ぶことが可能になりました。一方、世界の中には残念ながら状況がかなり違う地域が見られます。女性の

ための保健環境が十分整備されておらず、望まない妊娠と出産による貧困や健康被害が後を絶たない国、あるいは同じ国の中でも低い社会階層・所得層はピルを手に入れることができない現状があります。ピルが避妊薬販売額の50%を占める現在、私たちIPPFはこのような不均衡を見通すすわけにはいきません。私たちは行動せねばなりません。例えばこれら

の国々が自国内で品質基準を満たす、いわゆる後発品のピルを、コストを抑えて生産することが必要ではないかと思つてます。そうすることで輸送費と時間を節約し、地域

のピルの需要に応えることができません。そのため強力な行政主導の下で後発品企業がWHOの品質基準で生産できるように支援せねばなりません。私たちは「家族計画2020」という目標を持つています。具体的には、現在避妊を必要としている1億2千万人の女性を2020年までに救済するということです。

ある研究では、若年女性の4分の1はHPVワクチンの効果を過大視して性感染症の予防もできると誤解していると報告されています。つまりワクチンは「性行為の免許証」(米国CBSニュース報道での表現)になっているのではとの問題が指摘されていました。そこで、米国ジョージ

州のカイザー・パーマネンテという医療保険機構とエモリー大学ワクチンセンターは約13000人の若年女性を対象とした後方視的コホート研究を実施しました。

この研究では年齢の他、人種、社会階層・所得、医療機関受診頻度などの背景因子をそろえた上、また性的活動が少なく自主的に受診しない11~12歳の時にワクチンを受けなかった女性と、その後3年間追跡調査しました。その結果、ワクチン接種を受けた493人のうち妊娠したのは2/1156人・年、妊娠検査を受けた女性は48/1111人・年で、ワクチンを受けなかった対照に比べてわずかに高い割合ですが有意差はありません。

さらに、クラミジア感染症の診断あるいはその検査受診、避妊に関するカウンセリングのためのリンクなどを含めた受診率が少し増加したことが重要なポイントだと研究者らは指摘しました。特に受診率の上昇は医師や医療関係者との接点を増し、これが続くことで女性の健康管理がより良くなると考えられています。

と答えた割合は、低教育層の62%が最も高く、ハイスクール53%、カレッジ48%、大学卒43%の順に低くなり、この回答をした女性は15~19歳で47%、30~44歳で45%となり、年齢層別にみても似たような割合でした。使用回数でみると、1回だけ使用した割合は59%、3回以上は17%でした。米国では緊急避妊薬は17歳未満の場合だけ処方箋が必要とされ長い間議論が続いていましたが、今年4月に連邦裁判所からこの制限を撤廃するよう命令書が出され、FDAは商品名「Plan B One-Step」の15歳以上の処方箋は不要と通達しました。

【翻訳】office Ob-Gyn
【投稿募集】本紙では皆様からの投稿を募集しております。詳細は編集部まで。

「兄貴相談員」奮闘記
指導者を対象とした本会のセミナーでは女性受講者が圧倒的に多いように、医療の現場では職種による性別の偏在がみられます。女性が応対することを知ってか、「思春期・FPホットライン」には朝10時の開始と同時に性的な話をしたがる男性からの電話が、相談員

の気持ちを抑え込ませます。昨年度の異動によって、本会電話相談では男性が応対する機会が増えました。今回は新人男性相談員奮闘記です。

兄貴の目標で答えること。思春期・FPホットラインにかかってくる男性からの相談は、包茎、性器の大きさ、マスト

かっただけですが、「電話相談です」「ガチャ」と切られることが続きました。明るい声で出てみたり、一呼吸置いたから答えてみたりしたのですが、私が担当の日には、無言電話のカウン

一方、女性からの電話では、電話を受けた時には「あの、女性の相談員はいますか?」と尋ねると、「本日の担当は私です、どんな相談ですか?」と尋ねると、「急避妊したい」と戸惑いつつも答えてくれました。それだけ言い終え安を吐き出すように、話を始めます。自らの体に直接リスクが及ぶかもしれない事柄について、彼女たちが相談員の性別を気にしている余裕なな

らにとつてそれは、本気で思い悩む重大なことであつたと、自分の思春期を振り返り返つて感じます。だからこそ、話してくれる男性がいれば、しっかり受け止め答えたと思つて今日この頃です。

さらに、使用理由を教育水準でみたところ、「使った避妊法の失敗を心配して(58%)」と答えた割合は大学卒が58%と最も高く、次にカレッジで51%、ハイスクールで30%、低教育層で26%と教育水準が高いほど使用割合は増えています。一方、「無防備な性交渉を(27%)」と答えた割合は、低教育層の62%が最も高く、ハイスクール53%、カレッジ48%、大学卒43%の順に低くなり、この回答をした女性は15~19歳で47%、30~44歳で45%となり、年齢層別にみても似たような割合でした。使用回数でみると、1回だけ使用した割合は59%、3回以上は17%でした。米国では緊急避妊薬は17歳未満の場合だけ処方箋が必要とされ長い間議論が続いていましたが、今年4月に連邦裁判所からこの制限を撤廃するよう命令書が出され、FDAは商品名「Plan B One-Step」の15歳以上の処方箋は不要と通達しました。

【翻訳】office Ob-Gyn
【投稿募集】本紙では皆様からの投稿を募集しております。詳細は編集部まで。



「兄貴相談員」奮闘記
指導者を対象とした本会のセミナーでは女性受講者が圧倒的に多いように、医療の現場では職種による性別の偏在がみられます。女性が応対することを知ってか、「思春期・FPホットライン」には朝10時の開始と同時に性的な話をしたがる男性からの電話が、相談員

の気持ちを抑え込ませます。昨年度の異動によって、本会電話相談では男性が応対する機会が増えました。今回は新人男性相談員奮闘記です。

兄貴の目標で答えること。思春期・FPホットラインにかかってくる男性からの相談は、包茎、性器の大きさ、マスト

かっただけですが、「電話相談です」「ガチャ」と切られることが続きました。明るい声で出てみたり、一呼吸置いたから答えてみたりしたのですが、私が担当の日には、無言電話のカウン

一方、女性からの電話では、電話を受けた時には「あの、女性の相談員はいますか?」と尋ねると、「本日の担当は私です、どんな相談ですか?」と尋ねると、「急避妊したい」と戸惑いつつも答えてくれました。それだけ言い終え安を吐き出すように、話を始めます。自らの体に直接リスクが及ぶかもしれない事柄について、彼女たちが相談員の性別を気にしている余裕なな

らにとつてそれは、本気で思い悩む重大なことであつたと、自分の思春期を振り返り返つて感じます。だからこそ、話してくれる男性がいれば、しっかり受け止め答えたと思つて今日この頃です。

さらに、使用理由を教育水準でみたところ、「使った避妊法の失敗を心配して(58%)」と答えた割合は大学卒が58%と最も高く、次にカレッジで51%、ハイスクールで30%、低教育層で26%と教育水準が高いほど使用割合は増えています。一方、「無防備な性交渉を(27%)」と答えた割合は、低教育層の62%が最も高く、ハイスクール53%、カレッジ48%、大学卒43%の順に低くなり、この回答をした女性は15~19歳で47%、30~44歳で45%となり、年齢層別にみても似たような割合でした。使用回数でみると、1回だけ使用した割合は59%、3回以上は17%でした。米国では緊急避妊薬は17歳未満の場合だけ処方箋が必要とされ長い間議論が続いていましたが、今年4月に連邦裁判所からこの制限を撤廃するよう命令書が出され、FDAは商品名「Plan B One-Step」の15歳以上の処方箋は不要と通達しました。

【翻訳】office Ob-Gyn
【投稿募集】本紙では皆様からの投稿を募集しております。詳細は編集部まで。



診療は毎週火、金、第2土曜

電話相談
●東京都女性のための健康ホットライン ☎03(3260)7700
●思春期・FPホットライン ☎03(3260)2030

●東京都不妊不育ホットライン ☎03(3260)7455 ※火曜日のみ
診療予約・問合せ ☎03(3260)20694
クリニックHP <http://www.jipa-clinic.org/>

【翻訳】office Ob-Gyn
【投稿募集】本紙では皆様からの投稿を募集しております。詳細は編集部まで。

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等につきましては、製品添付文書をご参照ください

バイエル薬品株式会社
大塚町北區相田4-9-9 〒530-0001
<http://www.bayer.co.jp/byl>

避妊教育ネットワーク

リレートーク 39

どのように性教育に関わってきたか

医療法人社団慶愛 慶愛病院（北海道帯広市）院長 真井 康博



分娩館の様子

性教育の必要性に気づく
27年前、地域の周産期医療の充実を図ろうと産婦人科医の父、兄、私と小児科医の義弟の4人で開業し、当院で3万8千人の赤ちゃんが誕生しております。

私が性教育に関わるようになったきっかけは単純です。当院で多くの患者さんを診察するとき、受精の部位や着床、月経がなせ起るかを患者さんが答えられない。また10代の人工妊娠中絶、クラミジア等の性感染症の急激な増加に気づき、「思春期の性教育を考え



真井氏

のままであったなと思つたからです。当時は正しい性知識、性情報が大人には当然のこと、子どもたちにも伝わりにくかったのです。もちろんインターネットなどはありません。性教育を行っている学校は熱心な養護教諭のいる学校に限られ、授業数も少なかったのです。

十勝「性」を考える会
まずは学校関係者、一般、PTA、医師会、保健所、マスコミを巻き込み市民文化ホールで「思春期の性教育を考え

る」と題し、大々的にシンポジウムを開催しました。同時に「十勝「性」を考える会」を立ち上げ、日本思春期学会理事長（当時）の亡き松本清一先生他、学会の理事数人と帯広保健所長に顧問となつていただきました。会長には産婦人科医の会会長、副会長には帯広市連合PTA会長および学校保健会長が就き、私が事務局長となり事務局を担当。養護教諭を中心とする委員会を多数組み込みました。周りから見てもかなり強固な会として設立させ、現在も活動を続けております。

避妊教育ネットワークの北村邦夫先生、片桐清一先生にも講演をお願いしたことが、本ネットワークに入ったきっかけとなっております。また、女性用コンドームの治験で家坂清子先生や日本家族計画協会に連関する先生とのつながりが深くなり、たくさんの方の性教育関連の情報が入ってくるようになった。その後、講演をして、妊娠して産まれてくることと、今生きていることの素晴らしさを伝えております。また、卒業直前の中学3年生には、望ま

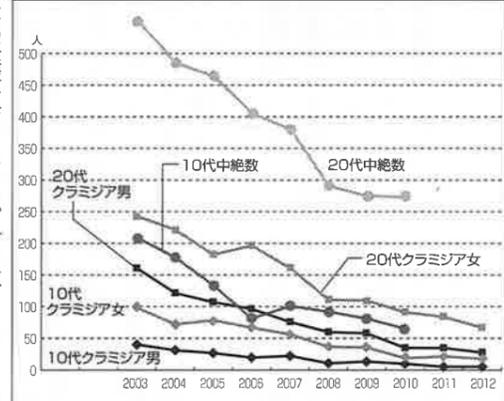


図 中絶数・クラミジア感染者数推移 (十勝)

7月の母子保健指導員研修会

【テーマ】「アレルギーと食事」
【講師】成田雅美（国立成育医療研究センターアレルギー科）
【日時】7月9日(火)午後1時30分～午後3時30分
【参加費】当日会員は3

千円（事前に係まで電話またはファクスで予約）
【問合せ】03(3326)4727
03(3326)2658
年間予定、当日参加申し込みは本会HPに掲載しております。

読者の声

前号4・5面「子どもは自分の何を決めていいか」では、川村百合子さんと杉村由香理本会がリニック事務局長が子どもを性的自己決定権について対談し、多くの反響が

ありました。保健師の方からは現在子どもを産みたくて産んだけれど、育てられないというケアーに多く関わっている。子どもの社会全体で育てるといふ発想を浸透させるとともに、男性も子育てに携わることが当たり前になる必要。いろいろな場地域に情報を発信したい。さらにこの記事を「育児相談事業、子育て推進員研修会」で話題提供として活用することを検討

【案内】全国夏期セミナー近畿大会
「人間と性」教育研究「いまこそ科学として学ばい」のちからだ・性孤立化する社会の中で
【問合せ】03(3326)4727
03(3326)2658
母子健康手帳係まで
（樋渡）



ジャパパ情報

【略歴】1950年7月5日北海道生まれ。75年昭和大学医学部卒、同年昭和大学医学部産婦人科教室入局。82年昭和大学が丘病院講師、83年国立伊東温泉病院産婦人科医長を経て、2008年より現職。日本産科婦人科学会専門医、日本性感染症学会評議員、日本思春期学会評議員、日本思春期学会北海道支部副会長、旭川医科大学臨床指導教授、十勝「性」を考える会長・児童虐待対応プロジェクトチーム専門委員。

【6カ国語版母子健康手帳】
外国人の妊婦さん向けの母子健康手帳で日本語・英語・ポルトガル語・タガログ語・中国語・韓国語の6カ国語併記仕様です。各言語の手帳をそろえなくても、これ1冊で複数の言語に対応可能なので大変便利です。
【内容】厚生労働省令員と予防接種
※予防接種は平成25年3月30日時点の最新情報に差替えができる仕様です
【仕様】A4判・60頁／表紙カラー・本文2色刷

今回は最新（平成25年度版）の2種類の母子健康手帳を案内いたします。

◎6カ国語版母子健康手帳◎
外国人の妊婦さん向けの母子健康手帳で日本語・英語・ポルトガル語・タガログ語・中国語・韓国語の6カ国語併記仕様です。各言語の手帳をそろえなくても、これ1冊で複数の言語に対応可能なので大変便利です。
【内容】厚生労働省令員と予防接種
※予防接種は平成25年3月30日時点の最新情報に差替えができる仕様です
【仕様】A4判・60頁／表紙カラー・本文2色刷

◎点字版母子健康手帳◎
現在、点字版の母子健康手帳を制作しているのは本会だけとなりまして、非常に貴重な1冊であります。ぜひとも1冊常備していただき、必要としている方に提供いたします。ご希望がありましたら、お問い合わせください。

【内容】省令員および任意員（本会の母子健康手帳に準拠）
【仕様】特製バインダー製（縦280×横250×厚さ54ミリ）・点字印刷
【付録】母子健康手帳1冊付（平成25年度版本会発行）
【価格】9500円＋税
【問合せ・申込み】03(3326)4727
母子健康手帳係まで
（樋渡）

OC 情報センター

女性のカラダとココロ、ライフデザインをサポート

OC情報センターはOC（低用量ピル）に関する正しい知識の普及を目指しています。

<http://www.pill-ocic.net>

●参加製薬会社(五十音順)●

- あすか製薬株式会社
- MSD株式会社
- 科研製薬株式会社
- バイエル薬品株式会社
- 持田製薬株式会社